

委員会審査

9月定例会で常任委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長 大野立志

◆総務管理費の一般管理費について

説明 大洲市の名誉市民である中村修二教授のノーベル物理学賞受賞を顕彰するため、来年3月24日に顕彰碑除幕式や講演会、イルミネーション点灯式等の記念事業の実施経費。

問 講演会の聴講者は何人程度を想定し、どのような方々を案内するのか。また、一般の方への周知はどうするのか。

答 会場は市民会館を想定しているため約700名程度である。そのうち400名近くは中村教授の意向もあり市内の高校生を予定している。その他来賓等にもご案内するが、200名から300名は一般の方に聴講していただきたい。市の広報紙等で公募をする予定である。

◆請願第24号「日本政府に「核兵器全面禁止・廃絶国際条約」の締結のための行動を求める意見書提出についての請願」

意見 高校生を中心に話を聞いてもらうのは非常に良いことである。勉強していくことの大切さや科学技術などについて、広く浸透していく機会になることを期待する。

意見1 当市も、平成17年に非核平和都市宣言をしており、今年は戦後70年という重要な節目である。核兵器の使用禁止と廃絶を強く訴え、平和への誓いを新たにすることは大変意義があり、採択すべきである。

審査結果 採択

◆請願第22号「南海トラフ大地震が起きても伊方原発の安全が保障されることが明らかにするまで伊方原発の再稼働をしない」ことを求める意見書採択を求める請願

意見1 田中委員長の発言をもって「再稼働をしない」とされる請願趣旨には賛同できない。

意見2 福島原発の事故の原因究明もされていない中で、やはり再稼働は認めるべきではない。

意見3 地方裁判所の結果一つで結論を出すのは時期尚早ではないかと考えることから、採択は困難である。

審査結果 不採択

◆請願第25号「伊方原発の再稼働を認めないよう愛媛県知事に意見書送付を求める請願」

意見1 適合性の審査について、三つの疑義を指摘されているが、新規制基準では福島の反省などをもとに検証、審査をしていることから、この請願の趣旨には賛同しがたい。

意見2 最大規模の地震を想定しているとは言っても、南海トラフ大地震などが起きた場合は、想定外のこともありうることから、再稼働を認めないとする請願を採択したい。

審査結果 不採択

◆請願第26号「公開討論会」開催について愛媛県知事に「意見書」送付を求める請願

意見1 公聴会の開催を望む意見には賛同できるが、県知事も様々な意見を収集されていることから、請願内容の一部分には賛同できないため、趣旨採択とすべきと考える。

意見2 広く住民に意見を聞くことが大事であり、それが本当の理解につながると思うので採択すべきである。

審査結果 趣旨採択

◆請願第28号「伊方原発3号機の再稼働について」住民説明会・地元要件・専門家の意見聴取の要望と議会の意思表明を求める請願

意見1 伊方原子力発電所の再稼働の是非については、最終的には愛媛県と伊方町が判断する案件であり、今の段階で、大洲市が再稼働について反対の意思を表明する状況には無いことから、不採択とすべきである。

意見2 住民は、その意思

表明をする場がもうほとんど無いと言っても過言ではない。このような意見を尊重して、やはり再稼働すべきではないと考えるので採択すべきだと思う。

意見3 安全を保障したら安全神話になってしまい、この後何もしなくても良いということになってしまいう。技術に絶対は無く、常に最新の知見を取り入れて安全度を高めていく必要がある。絶対反対の思い込みだけで反対することは、子供や孫へ負担を押し付けることになると思うので、採択には反対である。

審査結果 不採択

厚生文教委員会

委員長 上田栄一

◆保育所建設事業について
説明 本年度、長浜保育所改築事業にかかる建設工事及び菅田保育所改築事業にかかる用地購入が進められているが、今回の補正予算において、菅田保育所の取得用地に関し地盤補強等が必要ことから、敷地造成工事が計上されたもの。